

放射線教育フォーラム令和8年度第1回勉強会  
日本放射化学会第8回教育セミナー  
共催 慈恵医大アイソトープ実験施設

日時：2026年6月21日(日) 13:30~16:00 対面開催(ハイブリッド開催)  
会場：東京慈恵会医科大学高木2号館南講堂(東京都港区西新橋3-25-8)

【開催趣旨】

放射線教育フォーラムでは、放射線の理解を深めるために、放射線に関する基礎的事項の説明から、放射線への興味を喚起するための事項を取り上げて勉強会を開催している。今回は慈恵医大アイソトープ実験研究施設に加え、放射化学会教育部会との共催となります。演題3は、2025年度放射線教材コンテストで参加者の投票で選ばれた日本科学技術振興財団理事長賞を受賞した教材の紹介です。

【プログラム】

開会挨拶柴田誠一理事長(13:30~13:40)

[座長：緒方良至(放射線教育フォーラム)]

講演1. 再確認1ミリシーベルト

(13:40~14:20)

下道國(元藤田保健衛生大学)

1ミリシーベルト(mSv)について、そのよって来る由来と関連する用語、リスクでの捉え方、人体影響を述べ、食品に含まれる放射性物質の規格基準の決定に関係していることと、福島第一原発事故による汚染の除去目標になっていることを紹介する。

[座長：末木啓介(放射線教育フォーラム、日本放射化学会)]

講演2. 同位体の化学

(14:20~15:00)

鈴木達也(長岡技術科学大学)

同位体は、同じ元素ではあるが、中性子の数が異なるものである。同位体は化学に“ほとんど”影響しないと我々は学校で教わる。むしろ、化学に影響を受けないと言うことを前提に研究を行う。しかしながら、“ほとんど”と言うことは化学に影響を与えると言うことであり、その影響について説明する。

休憩(15:00~15:10)

[座長：大谷浩樹(帝京大学医療技術学部)]

講演3. VAKモデルを用いた放射線教育教材の作成と主体的実践～リスクとベネフィットの相対的理解への期待～

(15:10~15:50)

竹内友香、佐藤真耶(帝京大学医療技術学部)

放射線への過度な不安の軽減を目的に、中学生向け体験型教材を開発した。天秤を用いて医療被ばくと日常被ばくを比較し、リスクとベネフィットを直感的に理解できる点が特徴である。簡便に実施可能な工夫や改善点について報告する。

閉会挨拶緒方良至副理事長(15:50~16:00)

## 【開催要項】

会場における対面開催と Zoom ミーティングによるハイブリッドで開催します。ハイブリッドは試験運用のため、オンラインの画像、音声に不具合が生じる場合があります。

参加申込：NPO 法人放射線教育フォーラムのホームページから申し込んで下さい。

URL：<https://www.ref.or.jp/>

TOPICS「令和8年度放射線教育フォーラム第1回勉強会」の「参加申込フォーム」に必要事項をご記入の上、送信してください。参加申し込み者には、申込受付の返信がありますが、オンライン（Zoom）参加のための URL は6月18日にメールで送付いたします。

定員：100名

参加申込期限：2026年6月16日（水）17：00（定員に達し次第締切）

参加費：

1. NPO 法人放射線教育フォーラム会員：無料
2. 会員外の参加者：無料

懇親会：勉強会終了後に会場で講師をまじえて懇親会（会費1,000円）を開催します。

上記「参加申込フォーム」に合わせてご記入ください。

事業継続のためのご支援のお願い

事業継続のため、ご支援を募っています1口1000円より、無理のない範囲でご協力をお願いします。

振込先：ゆうちょ銀行

郵便局の「払込取扱票」で送金する場合

口座記号・番号：00270-8-75249

加入者名：NPO 放射線教育フォーラム

ゆうちょダイレクトで送金する場合

口座記号・口座番号：00270-8-75249

口座名：トクヒハウシャセンキョウイクフォーラム

他金融機関から振り込む場合

口座番号：当座〇二九店（ゼロニキュウ店）0075249

口座名：エヌピーオーハウジンハウシャセンキョウイクフォーラム

問い合わせ先：NPO 法人放射線教育フォーラム事務局 [entry@ref.or.jp](mailto:entry@ref.or.jp)